

## 業界トピックス

### 【製造業】

リーマンショックの後が悪すぎて、通常時の8～9割でも良く感じる。【ガラス加工】

物流、消費者（ユーザー）の購入製品変化による売上減少。【自動車部品製造】

来年もこの景気が続くかどうか？12月に入り落ち込みを始めている。【精密機械】

現状のままでしたら、会社が継続できないと判断し、次期に向け、自社開発品の販売を今期12月から開始。又、新規事業も次期から動き出す為、次期は、好転する事を予測、今期の10月頃から不況を感じる。【金属加工】

受注に波があり、不安が続く。先の見通しが立たない。【プラスチック加工】

海外向け設備が一部大幅に受注増となったが、他の受注品目の回復のペースが落ちている。【機械部品製造】

政治の混迷をなくして、早く将来ビジョンを明確にして欲しい。早急な経済対策が必要。【産業用機械製造】

顧客のメンテナンス等技術サービス減少している。社内対応が多くなり外注への依頼が減少している。【半導体製造】

受注量がほしい。【金属製品加工】

社員の事を考えると解雇することも出来ず、会社の今まで貯めたお金も底をつき、今後何をすればいいのか見当もつかない墜落寸前の状態です。【板金加工】

新製品の普及に時間を要する。【発煙材製造】

先の見通しは非常に悪い。【金型研磨】

県内の自動車部品製造会社の設備投資が少なく価格競争が激化している。【制御盤設計製作】

北米市場の不調。【自動車部品製造】

好況分野を伸ばす政策が必要。構造的な不況分野からのシフト。【印刷】

### 【建設業】

消費者のリフォーム工事等への低迷、受注単価の低下。【建築塗装】

運転資金悪化、従業員3名のうち2名やめていただいた。【リフォーム】

不況はチャンスと思いたいながらも、生かしていないのが苦しい。【建設】

仕事の流れが一定しない状態、忙しい時と暇な時の差が大きい。【窯】

単価が低額設定になっているので、収益率が低下している。【土木工事】

来期、向上を目指す。【建築塗装】

政治的不安定感、特に何がという事無く、気持ち的な不況感。【建築工事】

受注件数が少ない。【建築工事】

受注量の減少、単価の低下による、収入の減少。【間仕切り工事】

不調とまではいきませんが、前期と同じ状況にするのが精一杯な状態です。【電気工事】

### 【小売・卸売業】

中国（海外）情勢、コスト重視の見方。【事務機器販売】

受注が減少。【食品加工機械販売】

客単価上がらない。【食品小売】

4月から高卒新人2名を採用、経営上これ以上の経費がかかるので勝負のとき。【化粧品小売】

現役から退職して年金生活へ変わった為、消費も低価格傾向ひかえぎみ買い物生活の人が多くなる。又若い世帯でも就職難、母子家庭、父子家庭など生活に難題をかかえる人が多く、個人店よりも低額チェーン店での買い物かなと思われる。【眼鏡小売】

個人の消費が落ちると共によりシビアになっている。セール等の時は以前より売れる等。円高の割に材料価格は安くならない。政治の悪化により不景気感がただよっている。【パン製造小売】

店舗改装により客数はUPしたが、客単価買上点数のダウン。【食料品・雑貨類小売】

景気の不況感に伴う個人消費の低迷が大きい。H22年4月に施行された神奈川県受動喫煙防止条例に沿って喫茶の禁煙を実施したところ客数が半減した。【食品小売】

### 【飲食・サービス業】

最近の消費動向として財布のヒモが堅い感じがする。消費行動自体を楽しんではいないものの、余計なものに手を出さない。【喫茶店】

不景気の為か、外食の回数が減ったり外食費を減らしているなどの声が聞かれます。【洋食】

来客数の減少以上に、客単価の減少が大きい。酒類を飲む頻度も以前に比べて少ない。【居酒屋】

入庫の減少、1台当たり売上減少。【自動車修理】